

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年7月10日）

1 主な報告等

(1) 初任科生による「島守の塔」清掃活動等について

委員から、平和教育にもつながるほか、過去の経験を知って将来につなげる非常によい取組だ。連綿と続く県警の歴史を学ぶことは、警察官個人個人が、現代社会の中で、いかに責務を果たしていくかを考える上で非常に大切だ。これからも継続し、後輩たちへ経験をつないでほしい旨の発言があった。

(2) 大学生を活用した非行防止活動等の取組について～大学生少年サポーターへの委嘱及び研修会の実施～

委員から、111人もの多くのサポーターが集まったことは圧巻だ。大学生は色々な能力もあり、経験も豊富である。これだけの人数が集まれば、様々なことができ、少年たちの疎外感を埋めるよい活動ができるだろう。サポートを受けた少年が今度はサポーターとなったり、本活動に携わった学生が大学で評価されて表彰されるなど素晴らしい成果にもつながっている。大学内にサークル活動を設けて、大学間の交流を盛んにさせるなど、今後の活躍に期待したい旨の発言があった。

(3) 令和7年上半期水難事故発生状況について

委員から、最近、水難事故のニュースが多く、体感的には増加していると思っていたが、統計的には減少していることがわかった。外国のツアー会社と連携するなど、防止対策も年々発展していると思う。しかし、発生した事故について、もう少し分析し、それに応じた対策を講じてもらいたい。離島、スノーケルの事故が増加傾向にあるならば、離島での遊泳者のうちどれだけの人がスノーケルをしているのか、罹災者には水難事故に関する情報が伝わっていたのかどうかなどを調べ、その中から特徴が見いだせれば、今後、ターゲットを絞って説得力のある広報することができると思う。これから水難事故が増えるシーズンなので、引き続き県民や観光客が水難事故に遭わないよう、広報啓発に力を入れてもらいたい旨の発言があった。

(4) 戦後80年沖縄全戦没者追悼式に伴う警護・警備実施結果等について

委員から、大きなトラブルもなく無事に終了してよかった。警護だけでなく、熱中症対策も大変だったことと思う。会場やひめゆりの塔で、県内外の多数の警察官が警備に従事し、地域住民にも丁寧に対応しているところを確認した。県警には西暦2000年の九州・沖縄サミット以降、多くの警備に関する知識や経験が蓄積されていると思う。今後も後輩たちに継承してほしい旨の発言があった。

(5) その他

警察本部から、7月20日の参議院議員選挙に向け、多数の要人の来県が予定されている。引き続き緊張感を持って、警護対象者と聴衆の安全確保に全力を尽くしていきたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について（2件）
- ・ 公安委員会宛て意見要望について（2件）
- ・ 公安委員会宛て苦情の再調査結果について
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について（2件）
- ・ 犯罪被害者等給付金支給裁定に伴う公安委員会の裁定について

(2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 審査請求に係る職権取消しについて
- ・ 弁明書・証拠書類等の作成について
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について